

# 令和3年度 施設関係者評価および自己評価報告書

社会福祉法人 開花 認定こども園 わらべのその

## 1.園の保育目標

・生きる力の基礎を育み、さまざまな人とのかかわりを深める中で、人への信頼感と自己の主体性の形成を育てる。・認めあい、高めあい、育ちあうよい子、強い子、やさしい子の育成・いろいろな取り組みの中や異年齢児の交流を通して、子どもたち同士で学びを見つけ、教えあい、やさしさやコミュニケーション力を育む。・子どもたちの自立と社会参加を一層推進していくために、子どもたちの十分な学びを確保し、一人一人の子どもの状態や発達の段階に応じた指導や支援を一層充実できるよう全職員が教育・保育・インクルーシブ教育・就学前教育の向上につとめる。・非常時に備え避難訓練・消防訓練・救命救急の訓練の強化をおこなう。・コロナ渦における感染症予防対策につとめる。・保護者のニーズを理解し、誠意を持った対応をして行きながら信頼関係を築いていく。

## 2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した評価の具体的な目標や計画

・「10の姿」を踏まえ一人一人の成長を促すためには、一人一人の成長を集団の力につなげていく視点も大切である。・職員は一人一人に合わせた援助をしているが、保護者アンケートの評価においても、よりきめ細やかな個別対応へのニーズが高いことを念頭に、個別対応、保護者支援を充実させる・節分に向けた取り組みでは松江市の誤食事故をふまえ、従来とはやり方を変え、職員間の共通理解を高めながら安全第一に行う。・コロナ渦により保護者参加行事が少ない中、保育教育の取り組みの様子や、子どものエピソードを丁寧にあゆみノートに記載したり、園便りに掲載したり、壁新聞にしたりして保護者支援、現況報告をする。・避難訓練や不審者訓練、ヒヤリハットの記入及び周知徹底などよく取り組んでいるが、保護者に伝わっていない一面があるため、保護者周知について新たに取り組む。特別支援児のサポートプランを職員間で共有し、一貫した対応をしながらもそれぞれの分掌が計画に沿って活動すること。・食育関連の掲示は途切れること無く、清潔安全、食材の吟味、食育活動において保護者アンケートの評価は高く、更なる向上を目指す。園内研修、園外研修、公開保育において環境構成に対する職員の意識づけを深める。職員は自園を見る目を養い、環境全般の改善、保育教育の内容や改善に主体的に取り組んでいくことを目標とする。また、学校関係者評価を受けて課題を確認し、その改善に取り組む。

### 3.施設関係者による評価結果

No.	評価項目	評価結果(%)		
		A	B	C
1	意欲	75.5	24.5	0
2	研究・研修	66	33	1
3	組織力	53	46	1
4	安全・環境	59	39	1
5	指導の工夫・改善	60	39	1
6	生活習慣指導	61	36	1

No.	評価項目	評価結果(%)		
		A	B	C
7	信頼性・連携	57	40	2
8	情報の提供	39	57	4
9	地域・社会との関わり	14	67	10
10	食育の推進	69	28	0
11	幼小の接続	31	59	2

### 4.自己評価（職員）による評価の結果

No.	評価項目	評価結果(%)		
		A	B	C
1	保育・教育の計画性	91	9	0
2	保健管理	90	10	0
3	安全管理	94	6	0
4	特別支援教育	83	17	0
5	組織運営	83	17	0
6	研修（資質向上の取組）	83	17	0

No.	評価項目	評価結果(%)		
		A	B	C
7	教育目標・学校評価	81	19	0
8	情報提供	95	5	0
9	保護者・地域住民との連携	90	8	2
10	子育て支援	77	21	2
11	教育環境整備	92	8	0

「3.4.」の評価結果の表示

評価	とてもそう思う・実施、達成	A
	そう思う・一部改善が必要	B
	そう思わない・未実施	C

## 5.施設関係者からの意見

学校関係者による評価において、幼児教育に基づいた計画、実践、評価、そして改善に至るまでの営みを可視化し、子どもや保護者はもとより広く社会と共有することで幼児教育の実践の質が向上し、幼児教育の社会的地位が向上することにつながることを踏まえ、職員は、3号認定の子どもたちの保育はもちろんのこと1号、2号認定の子どもたちの教育面のカリキュラムの創意工夫・質の向上・園全体で遊びの環境を大事にしていることがうかがえる。環境の構成を子どものその時の姿に合わせ柔軟に変化させることは、子どもの「やってみよう」という意欲を引き出し、「自分でやりたい」「もっとやりたい」「できた」という自主性と自己肯定感、学びの意欲を伸ばすことにつながり、またスモールステップによる継続力強化は、保護者アンケートの結果や自由記載の意見からも、好評価を受けている。インクルーシブ教育においては、個性をもった子どもたちがともに共感しあえる環境作りを行い、保育教諭の丁寧な保育や対応は、保護者が安心して子どもを託していることがうかがえる。日々の保育教育に園の保育方針が反映されており、子どもたちの成長に生かされていると感じている。おおむね良好な運営なされ、施設評価にも積極的に取り組んでいる。今後は今まで以上に、職員、保護者、関係機関と情報共有をおこない、環境面・保育面・教育面で安全に留意した取り組みをおこなっていただきたいとの評価を受けた。